## 地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価(一次評価)結果報告

平成27年 1月14日

	確保維持事業				バリ	ア解消促進等	事業	調査等事業			
実施事業:	幹線	フィーダー	離島航路	離島航空路	バリアフリー	利用環境改善	鉄道安全	調査	再編調査	協働推進	
		0									

※実施した事業に〇をつけてください。

地域の交通の目指す姿:

既存ストックを活用しながら、公共交通のサービス向上と利用促進に取り組み、中心部のにぎわいと郊外部のやすらぎを結ぶ、誰もが安心して快適に移動できる全域交通ネットワークの構築を図る。地域にふさわしい交通サービスの確保と利便性向上を進め、 過度にクルマに依存した交通環境からの脱却と、環境負荷の小さい公共交通への転換を目指す。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成27年 1月14日

協議会名: 福井市地域生活交通活性化会議

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況		④事業実施の適切性		⑤目標·効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
福井交通株式会社·鷹巣·棗 線	市北西部の鷹巣地区蓑浦町から、 交通空白・不便地域である白方町 等を経由して福井温泉病院に至る 路線 (H25:路線定期運行) (H26:デマンド運行)		Α	計画どおり事業は適切に実施された。	В	事業の継続性を高めていくためにデマンド運行に移行し、利用実績も伸びているものの、目標値に対しては下回った。・年間利用者数:3,300人に対して2,639人・利用者1人あたり行政負担額:1,800円/人以下に対して2,140円/人他の路線との統合を含めた再編を行ったが、目標達成には至らなかった。	定期的な利用者にはデマンド運行 に対する理解が得られてきており、 利用頻度が増加している。 利用者同士の誘い合わせによる相 乗りの促進のほか新たな利用者の 獲得に向けて、交通事業者とも連 携しながら引き続き周知広報を行 い認知度を高めていく。
京福バス株式会社・酒生いきいきがス東郷ルート	域において、高尾町の斜面住宅団地を起点に、既存集落を経由してJR越前東郷駅や済生会病院、	高齢者の移動実態に合わせ、午後から午前へ輸送力を増強した。地域の運行協議会が主体となって、時刻表の全戸配布やポケット時刻	Α	計画どおり事業は適切に実施された。	B	で7,965人 ・乗継利用の割合:40%に対して3,4% 利用者数・乗継利用の割合と	高齢者を中心に定着が図られており、利用人数も増加しているが、鈍化傾向もみられる。 地域のイベント等を利用し、隣接した地域との交流を深めることで、地域外の住民への利用促進に向けた取り組みを行う。
			Α	計画どおり事業は適切に実施された。			
京福バス株式会社・酒生いきいきがス南ルート			Α	計画どおり事業は適切に実 施された。		が、概ね達成できている水準である。乗継利用の割合については、バス路線の沿線施設等への利用も多く、乗り継ぎ利用の伸び悩みも想定される。	

京福バス株式会社・岡保地域 コミュニティバス北周り	市街地の東部に位置する岡保地域において、既存集落を経由して済生会病院、ショッピングセンターやスーパーマーケット等に至る路線(路線定期運行)	岡保地域は南北の広いエリアから成り、1つのルートで全て巡回することが困難であり、他の地域同様にエリア分けを行い、北と南の2ルートを設定して運行を行っている。		計画どおり事業は適切に実 施された。	В	住民のコミュニティ醸成や地域 活性化のツールとしても活用が 図られている。 ・年間利用者数:12,500人に対	一定の住民についての定着は図られているが、目標利用者数を達成するまでには至っていない。再度、沿線住民にアンケートを行うなどして、ルートやダイヤの見直しを含め、沿線の商店等のチラシの配布など利用者増に向けた周知啓発活動を行う。また、利用状況によってはデマンド運行への移行も考慮していく。	
京福バス株式会社・岡保地域 コミュニティバス南周り				計画どおり事業は適切に実 施された。		・利用者の満足度:4.0に対して 4.1		
光タクシー有限会社・殿下かじ かポッポー地区外ルート	市南西部の殿下地域(中山間地域)の谷筋に散在する集落から、地区の中心部を経由して隣接地域の大規模商業施設に至る路線(区域運行)	これまでの運行実績を踏まえた設 定時刻の最適化や地区外からの 利用者の獲得のために、地区外へ の周知広報を行った。		計画どおり事業は適切に実 施された。	Α	が図られてきた。 ・利用者1人あたり行政負担 額:1,200円前後/人に対して 1,236円/人 ・乗継利用の割合:20%に対し	地区内に居住する高齢者等の利用がほとんどであり、将来に亘り利用者を維持・拡大していくことは困難である。地区の活性化策と連携し、引き続き地区外からの利用者を獲得していくことが求められ、区外への周知広報を行っていく。	
福井鉄道株式会社・青葉台ルート	市南部の麻生津地区において、斜 面住宅団地である青葉台や江尻ヶ - 丘、スーパーマーケットや鉄道駅等 を経由する循環路線(路線定期運 行)	周知広報を強化し、地域内移動だけでなく、乗継ぎによる地域間移動・		計画どおり事業は適切に実 施された。	В	にあり、徐々に定着が図られつ つある。 ・利用者数:7,200人に対して 6,190人 ・乗継切符販売数:40枚/月に	鉄道等との往復乗継割引切符の 周知広報を継続的に行い、地域内 移動だけでなく、乗継ぎによる地域 間移動を推奨することで利用促進 を図っていく。 また、遅延運行時の乗継時間につ いても、できる限り調整を行う。	
福井鉄道株式会社・江尻ヶ丘ルート				計画どおり事業は適切に実 施された。				
福井鉄道株式会社・大島下荒井ルート	市南部の清明地区において、公共 交通サービス圏域外の住宅団地 や既存集落と、地域内の大規模商 業施設を結ぶ循環路線(路線定期 運行)	ンヨッピングセンダーの敷地内での   バス停新設及びこれに伴う各ルー   トの一部経路変更し利便性の向上	Α	計画どおり事業は適切に実 施された。	-B	・利用者数:11,000人に対して 11,666人 乗継切符販売数:10枚/月に対 して5枚/月 乗継切符は、沿線住民に十分	鉄道等との往復乗継割引切符の 周知広報を継続的に行い、地域内 移動だけでなく、乗継ぎによる地域 間移動を推奨することで利用促進 を図っていく。 また、遅延運行時の乗継時間についても、できる限り調整を行う。	
福井鉄道株式会社・江端ルート				計画どおり事業は適切に実 施された。				
福井鉄道株式会社・清明南ルート			Α	計画どおり事業は適切に実 施された。				
福井鉄道株式会社・清明南 ルート公民館2度回り				計画どおり事業は適切に実 施された。		域の補助券による乗継利用もある。		

福井市・美山地域バス芦見 ルート	市南東部の過疎地域に指定されている美山地域内の芦見地区において、子供や高齢者等の日常生活の移動手段としての路線(路線定期運行)	」 い前上は亜ヴのなった交通不便	Α	計画どおり事業は適切に実施された。	В	地域の解消が図られた。 ・年間利用者数:570人に対して451人 ・利用者の満足度:4.0に対して	芦見地域の移動手段として定着している。また、高齢化が進んでいる地域であるため、今後も地域バスとして維持していく必要がある。そのためにも沿線地区に乗継ぎ情報を含んだ地域ごとのバス停の時刻表を作成して利用促進を図っていく。

<sup>※</sup>評価にあたっては、「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施にむけて(ガイダンス)」(平成25年11月)を参照し、実施。